

令和4年2月2日

会 員 各 位

長崎市介護支援専門員連絡協議会
会 長 大 町 由 里
(公 印 省 略)

新型コロナウイルス感染症に伴う居宅介護支援に係る対応について（第12報）

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が猛威を振るう中、ご利用者やそのご家族、また、私たち自身も含めた地域全体のすべての人が、この猛威に毎日向き合っている状態であると思えます。オミクロン株の平均的な潜伏期は3日余りと言われており、感染から発症までの期間がこれまでの新型コロナウイルスよりも短いために、感染が速く広がりやすくなっているとみられています。不要な接触や飛沫が起らないよう、1つの密を可能な限り避ける行動をとり、ワクチン接種者も含めマスクの正しい着用、手指衛生、換気などの徹底を継続していきましょう。

現在、保健所では、昼夜において奮闘する状況が続いています。検査は毎日数百件を超え、不安が積み重なっている住民の方々の相談対応、陽性者や濃厚接触者の方の調整や保健所としての日々の業務もある中で、極限を超え、精一杯の状態です。長崎市においても、多数の要介護高齢者が陽性判定を受けていますが、重症者は少なく、健康観察（酸素濃度、熱、症状観察等）に注意しながら、在宅療養者が増えている状態です。

当然、私たち介護支援専門員も、ご利用者とその家族を含め、多くの陽性者や濃厚接触者を確認し、サービス調整をしている状態です。しかし、この状況の中で、事実確認が追いつかず、不安を抱えながらサービス調整をしている現状もあると思えます。勿論、サービス事業所においても同じ状況です。配食サービス等も感染の不安を抱えながら安否確認も含め、毎日訪問を継続されています。フォーマル・インフォーマルサービスを含め、それぞれのサービスが大切な業務を遂行できるよう、担当者の家庭内の感染状況において確認できていることがあれば、早期に対応方法の検討へ繋がるよう関係者へ情報を発信していきましょう。また、サービス事業所においても、同じように協力していただけるよう、お声かけをお願いします。

それぞれの専門職の連携によって、予想を超える様々な効果があると思えます。今はお互いが協力し合い、長崎市一丸となって守り合いきましょう。この猛威が収まり、労い合える日が必ず来ます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。